



# 地方公共団体金融機構について

金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く



**地方公共団体金融機構**

Japan Finance Organization for Municipalities

# 地方公共団体金融機構(JFM)の役割

地方公共団体金融機構(JFM)は  
地方金融機構債の発行により資本市場から資金を調達し  
地方公共団体に対し長期かつ低利の資金を融資する  
地方共同の資金調達機関

- **全ての地方公共団体が出資**

- 長い歴史を有する公営企業金融公庫の高い信用力  
及び 強固な財務基盤を承継

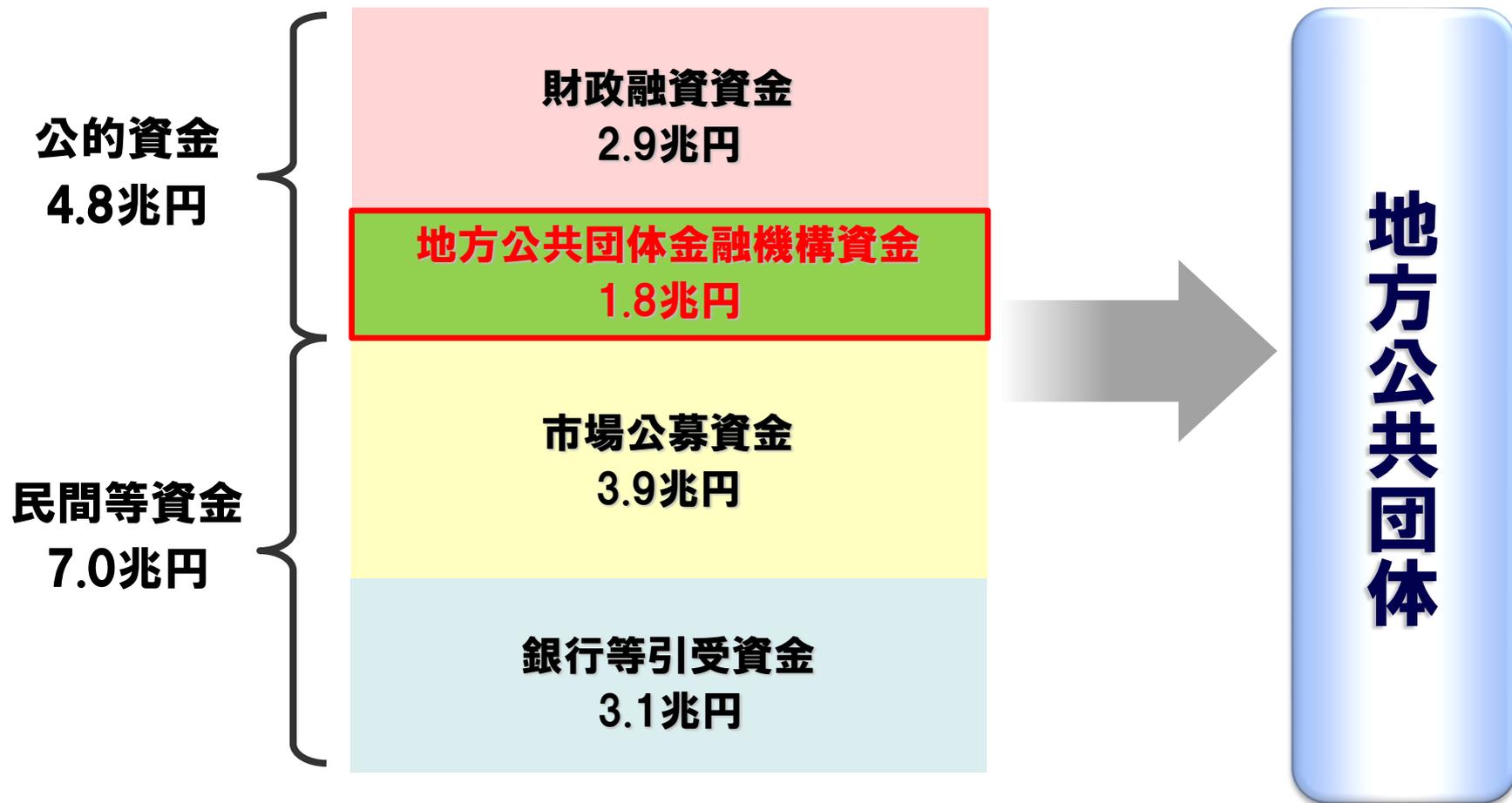
- **特別の法律に基づく公的機関(地方共同法人)**

- 地方公共団体金融機構法に基づき設立

# JFMの歴史

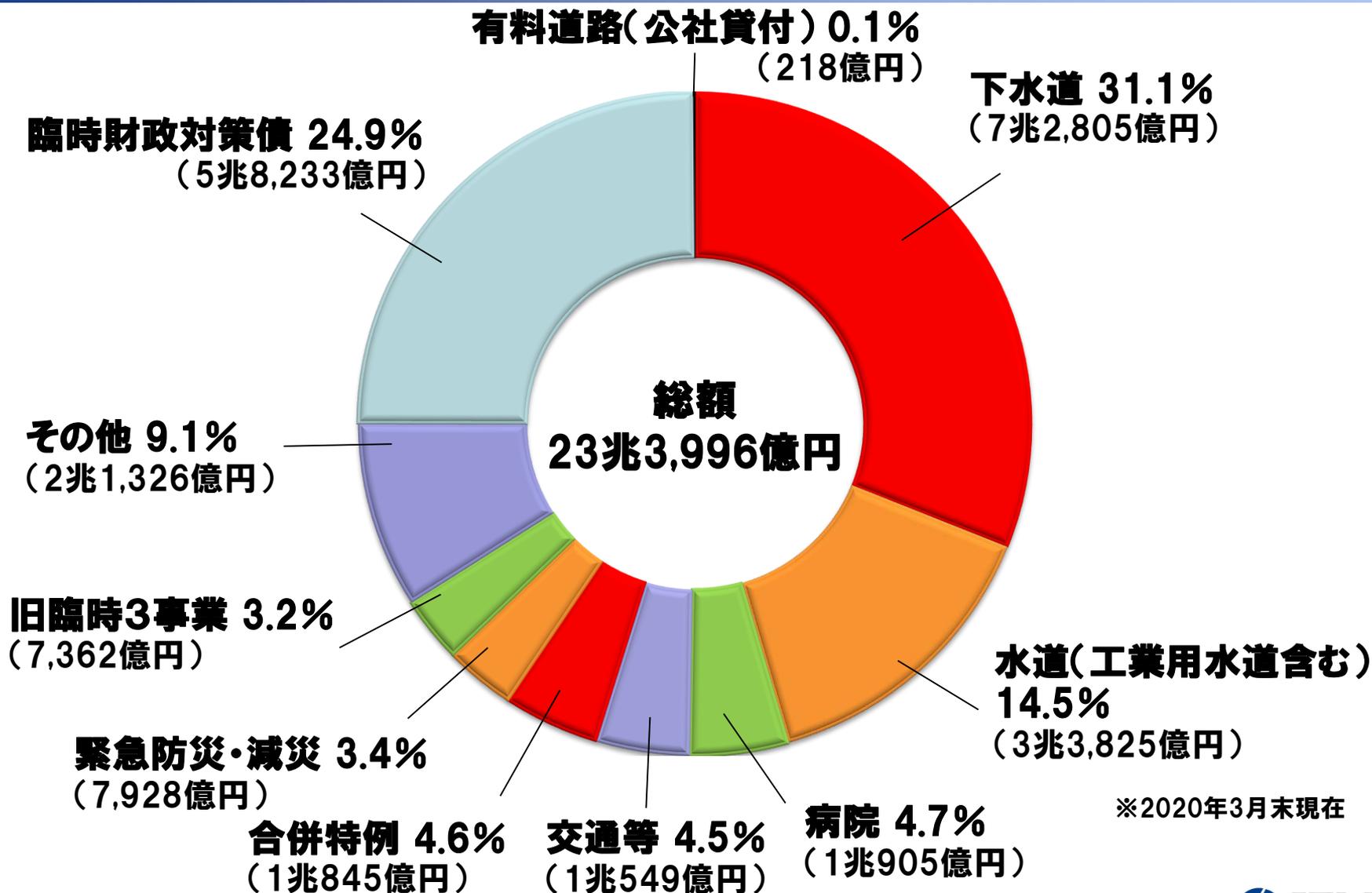
年. 月		出資者
1957. 6	<b>公営企業金融公庫 設立</b>	国
	↓	全ての権利・義務を承継
2008. 10	<b>地方公営企業等金融機構 業務開始</b>	全地方公共団体
	↓	貸付対象を一般会計事業にも拡大
2009. 6	<b>地方公共団体金融機構 に改組</b>	全地方公共団体

# 地方債計画と地方公共団体金融機構資金

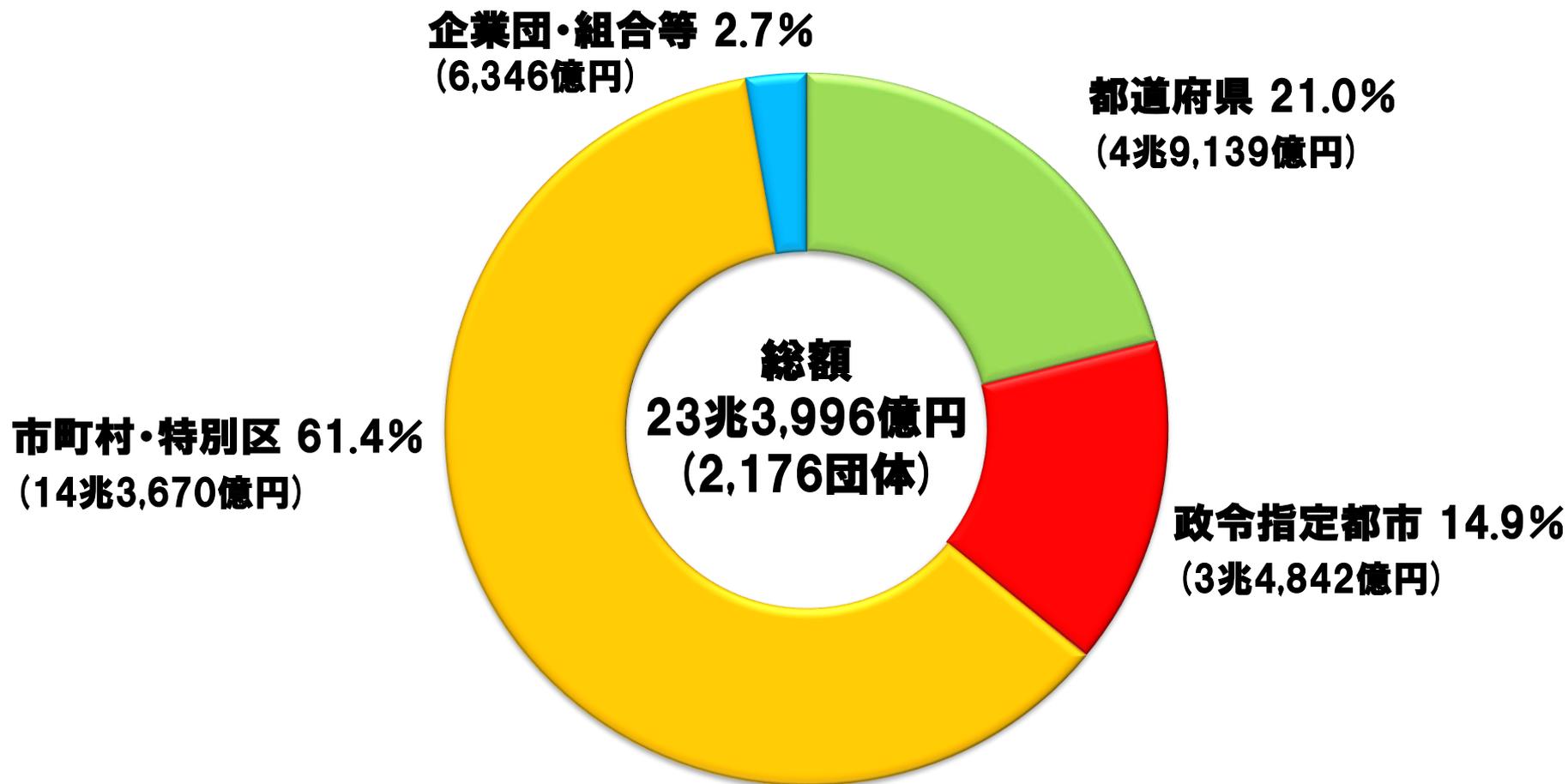


**地方債計画 11.7兆円**

# 事業別の貸付残高

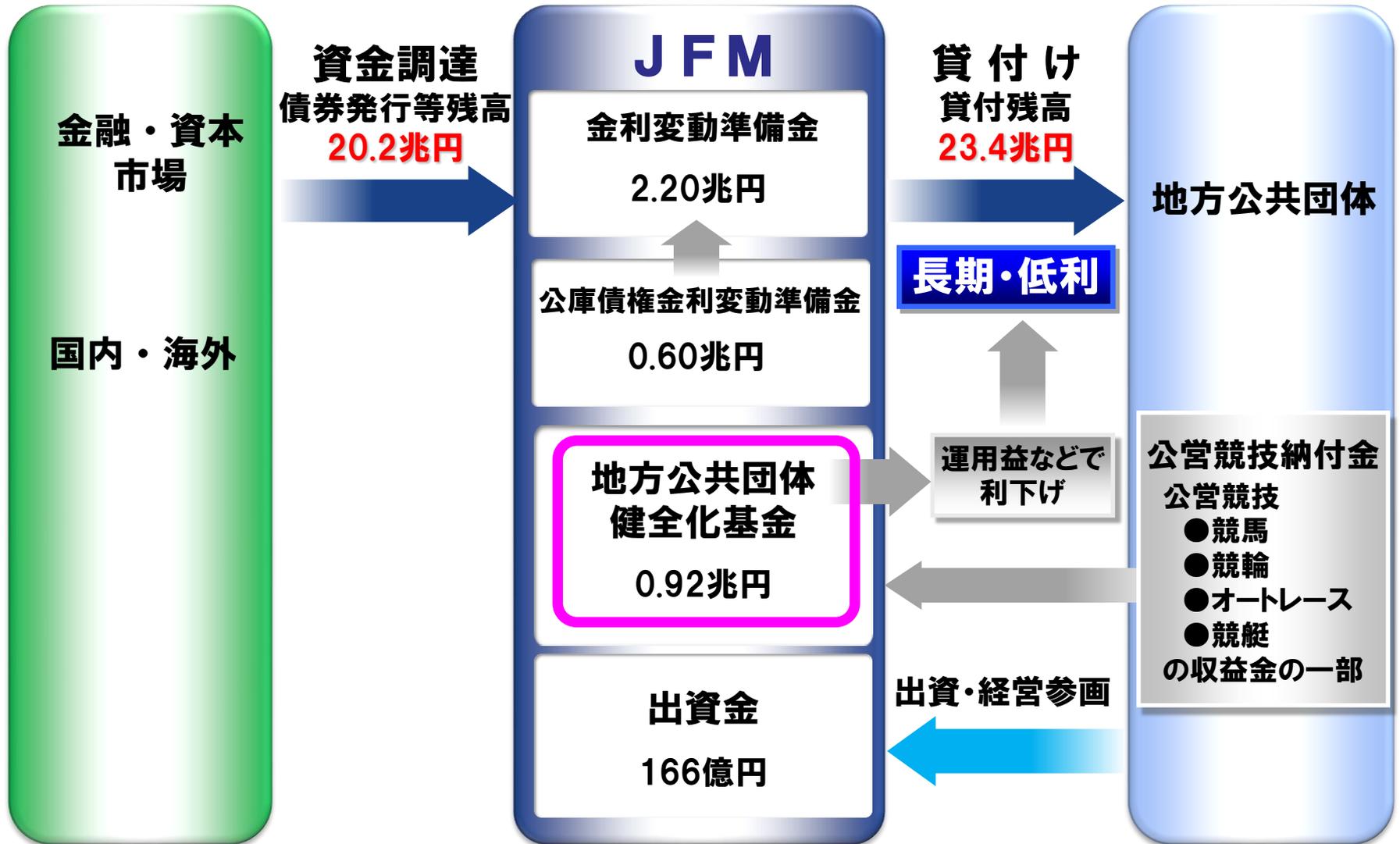


# 団体別の貸付残高



※2020年3月末現在

# JFMの基本的な仕組み



# これまで貸倒れは1件もない

## 地方公共団体

### ●地方公共団体へのみ融資

→国又は都道府県に同意・許可された地方債のみに対して貸付け（機構法第28条）

融資

返済

### ●地方公共団体の債務不履行が生じないような仕組み

→地方財政計画、地方交付税の交付を通じた財源保障

→地方財政法に基づく早期是正措置としての地方債許可制度

→地方公共団体財政健全化法による、財政の早期健全化・再生

# JFM

# 強固な財務基盤、償還確実性の担保

市場

調達

- 地方共同の資金調達機関
- 非政府保証の地方金融機構債(一般担保付)を発行

償還

- 強固な財務基盤
  - 金利変動準備金等 約2.8兆円
  - 地方公共団体健全化基金 約0.9兆円
- 償還確実性の担保
  - 機構解散時に、債務を完済できない場合は、全額を地方公共団体が負担する事が定められている。(機構法第52条第1項)

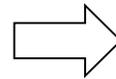
JFM

# 地方金融機構債の特色①

## 高い信用力

### 国債と同等の格付

- R&I : AA+
- S&P : A+
- Moody's : A1



国内の公共債発行機関では  
最高位の発行体格付

- バーゼル規制におけるリスクウェイト10%(円建ての場合)  
※外貨建てまたは海外の投資家に関しては各国規制当局の確認による

## 資産の 安全性

### 地方公共団体のみに貸付け

- 国又は都道府県の同意・許可を受けた地方債に対してのみ貸付け
- 地方交付税制度、地方財政健全化法で債務不履行が生じない仕組み
- 機構法に、機構解散時に債務を完済できないときは、完済費用の全額を地方公共団体が負担する旨の規定

## 地方金融機構債の特色②

高い流動性  
多彩な商品性

### 国内最大級の発行体として多様な年限の債券を発行

- 5年債、10年債、20年債、30年債は、四半期毎に起債計画を公表し計画的に発行
- FLIP債、スポット債、国外債等を需要に合わせて発行
- フレックス枠の活用により、各種機構債の増額や追加発行等、機動的に起債

時勢に即した  
条件決定

### 市場環境に即した利回りの設定

- 主幹事方式を基本とし、マーケット動向を踏まえた弾力的な起債運営

# 2020年度資金調達計画

## 公募債

(億円 単位未満四捨五入)

債券の種類	2020年度 計画(当初)	計画見直し後※		備考	2019年度 計画(当初)	2019年度 実績
		上半期実績	下半期予定額			
国内債	7,400	7,595	3,120		7,450	9,430
10年債	2,600	1,900	1,150	毎月発行	2,600	3,550
20年債	1,100	950	500	四半期に2回程度	1,100	1,500
5年債	200	100	100	半年に1回程度	200	200
30年債	200	300	100	半年に1回程度	200	300
スポット債	—	100	—		—	150
FLIP債	3,300	4,245	1,270	原則、四半期の期初月	3,350	3,730
国外債	3,000	3,485	660	ベンチマーク債を年3回程度	2,500	1,761
フレックス枠	2,000	—	390	年間を通じて活用	1,500	—
合計	12,400	11,080	4,170		11,450	11,191

・10年債は、原則、10年国債入札の1週間後に条件決定する。

・2019年度計画のうち国外債については、2019年3月12日に発行した米ドル建10億ドル(1,115億円相当)の調達分を含む(2018年度実績にも計上)。

・フレックス枠については、各種国内債・国外債の増額、スポット債の発行、長期借入の増額等に活用。実績には、各種債券及び長期借入の額にフレックス枠充当分を含む。

※ 2020年度計画は2020年7月に見直しを行い、15,400億円に増額(2019年度計画は2019年12月に見直しを行い、12,450億円に増額)。

# FLIP債 柔軟な起債運営の取組み

年限や発行額など投資家ニーズに柔軟かつ迅速に対応して起債する機構独自の仕組み

## 発行概要

2020年度 下半期予定額	1,270億円	一回の発行額	30億円以上 (単独または複数の投資家による合計額)
債券の年限	投資家の指定する年限 (原則、5、10、20、30年を除く)		

※ JFMの資金需要により、募集を取り止める場合や、募集する金額に制限を設ける場合があります。

## 発行実績

区 分		2018年度		2019年度		2020年度 (9月末)	
		回数	発行額計	回数	発行額計	回数	発行額計
年 限	2年～10年	40	2,720億円	24	2,710億円	26	2,470億円
	11年～20年	7	280億円	23	700億円	24	1,245億円
	21年～40年	8	415億円	10	320億円	13	530億円
合 計		55	3,415億円	57	3,730億円	63	4,245億円

# 外債発行計画と実績

■ 2020年度下半期予定額 660億円

■ 直近の発行実績

## <ベンチマーク債>

市場	通貨	発行額	年限	利率(%)	発行日	条件(bps)
グローバル	米ドル	15億 (1,581億円相当)	5年	0.625	2020.9.2	MS+39
グローバル	米ドル	15億 (1,604億円相当)	5年	1.000	2020.5.21	MS+69
ユーロ	ユーロ	5億 (600億円相当)	7年	0.050	2020.2.12	MS+26 ※

マーケットの状況に応じ、プライベート・プレイスメント債等も発行

※2020年2月発行のユーロ建て債券はグリーンボンドとして発行

キャピタル・アイ Awards “BEST DEALS OF 2019”  
グリーンボンドが外債部門 特別賞を受賞

# お問い合わせ先

金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く



## 地方公共団体金融機構

Japan Finance Organization for Municipalities

### 資金部資金課

■住所：〒100-0012

東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館内

■電話：03-3539-2696

■FAX :03-3539-2615

■E-mail: shikinka@jfm.go.jp

■URL: <http://www.jfm.go.jp/>

(日比谷 市政会館)



# ご購入時等の留意事項

---

**当機構の債券発行計画を含めた将来的な見通しは、現時点で当機構が得ている情報に基づくものであり、潜在的なリスクと不確実性を含んでいるため、マーケットの動向や経済状況、法令といった様々な要因により、将来の状況は今回ご説明した見通しとは異なる可能性があります。そのため、投資家の皆様におかれましては、慎重に判断し、リスク等に十分に留意した上でご購入等されることをお奨めいたします。**